

おええで
—うか？

あおげば尊し

♩ = 112~120

作詞・作曲者不詳

mf *mp* *mf* *mf* *rit.* *♩ a tempo*

あ お げ ば と う と し わ が し の お ん ー お
し え の に わ に も は や い く と せ ー お
も え ば い と し こ の と し つ き ー い
ま こ そ わ か れ め い さ さ ら ー ば ー

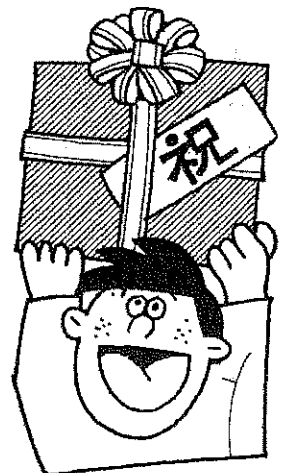
ひまわり

Vol. 132

編集 中村建設(株)

四時市小志第1-1-7

隔月発行



嬉しかった事
悲しかった事
全ては喜び
と捉えて...



いと疾しきわめて早い。
今こそ別れめ今別れよう。

明治十七年『小学唱歌集(三)』

- 1 あおげば尊し 我が師の恩
教の庭にも はや幾年
思えばいと疾し この年月
今こそ別れめ いざさらば
- 2 互に睦みし 日頃の恩
別るる後にも やよ忘るな
身を立て名をあげ やよ励めよ
今こそ別れめ いざさらば
- 3 朝夕馴にし 学びの窓
蛍のともしび つむ白雪
忘るる間ぞなき ゆく年月
今こそ別れめ いざさらば

別れあり
出会いあり
等々々々
どうぞ良
出会い
なさって下
一度しか
人生だから

社長のひとり言

令和2年2月20日記

今世の中は近年、西洋からのもたらされた一つの価値感「グローバル・ゼミョン」が主流です。この考えは人・金・物が国民、国家の枠組みを越えて活発に移動し各経済の開放と世界の産業・文化・経済市場の統合を追求現象と言います。この考え方を私も本当に理解しているかと云えば、そうではなく、何となく、この考え方に違和感を感じます。それは、私が親たちから教えられる来た価値感や物事の進め方、経営のやり方、子供の教育方法など日本人が連綿と引継いで来た

ものの価値感と異なるように思うからです。私はこの考え方を否定するのではなく見方と変えてみてはと思います。日本は世界から特異な国と思われています。それは、日本の歴史が示す通り、単一民族による長い歴史にあります。神武天皇から数えて2600年以上も続いている国柄は世界には存在しないようにです。その中で先人たちによって築き上げられて来た人間の生き方が示されています。それは生きとし生きているものには、全てに生命が宿っていると云うことです。それと西洋的な自然を人間は征服して生きるのではなく、自然と共に生して生きる生き方です。又ギブアンドテイクの世界ではなく、お陰様お互い様と云った相手を思いやる精神

を常に持ち至活するやり方です。経営においても二宮尊徳氏の「ライの水」の話しのように、水を自分の方へ引き寄せようとすると向こうへ逃げてしまふけれど、相手に上げようと押しやれば、自分の方へ戻ってくる。この様な価値感と各民族の独自性を認め尊重して行く事をすれば、強さ、グローバル・ゼミョンの考え方も自分でも納得できるよふ思えます。



雑字

春の言葉と幾つかご紹介

① 麦踏み

春の早い時期、芽をふいた麦は

育成が早く、丈ばかり伸びてしまふ、

根張りとも良くし、多くの芽がふくよう、

少し伸びたら踏んでおく事で、株をとり、

させることと一言う

② 和布刈

早春目、まだ寒い時期に海に入って、

アカメの新芽刈りが始まる。「和布刈」

は春の季語だが、旧暦の一月一日、北九

州の門司区和布刈神社の和布刈神事

は、冬の季語。

③ 東風

春に東から吹く風、

菅原道真の作として知られる

和歌。「東風吹かばにほひおこせよ

梅の花、主よしとて春を忘るる」

④ 山笑う

樹々が芽吹き、うすうすと霞んで

見える春の山の様、北宋の画家

郭熙の臥遊録にある一節、

「春山淡冶にして笑うが如く」が

その出典とされている、これに対し、

冬の山を表す季語が「山限る」。

⑤ 摘草

光孝天皇の和歌「君がため

春の野にいでて若菜つむわが

衣手に雪はふりつ」にもある様に

昔より我が国では早春に、ワレヒ、ゼニマイ、セリ、ツクシ、ヨモギなどの草を摘む風習。

⑥ 鳥雲に入る

秋から冬にかけて北国から渡って来た

雁・鴨・鶴などの候鳥類が春に帰って

再び北へ帰ることを指して言う。

「志帰る」「引鶴」「帰雁」なども同じ様

を指す言葉

⑦ 雪霞

春になると山野には薄く、もやが立ち込め

る日が多くある、この現象を霞と云う。

春の季語として多くの詩歌に詠われている、

「朝霞」「昼霞」「夕霞」と云った時間の

経過によっても使い分けられる。

⑧ 春日秋心

春の愛いをも上平く表した言葉、

(物憂く、長念い、長命)

～幸せを生む住まい～

住宅環境研究グループ四日市教室

開講日時

： 随時受付・予約制
ご希望の方は事前にご予約下さい。

会場

中村建設株式会社
事務所内四日市教室



住宅とは？・・・



居住環境です。

中心的生活環境です。

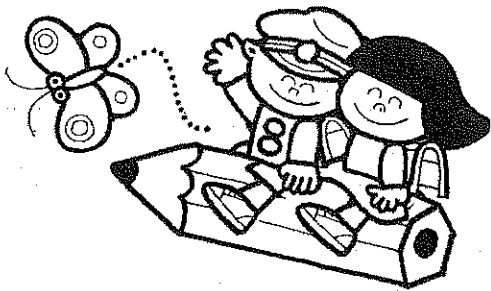
家庭環境です。

人間生活の拠点です。

人生の起点です。

人間形成の場です。

宇宙レベルでの環境の変化
如何に思われますか？



先日、近所のお寺の住職
とお話しする機会がありました。
人の住む環境も変わって来たね
から、寺の庭にも沢山の猫が
遊びに来るんだけど・・・

この頃は育児放棄する
猫が去て来てウチの嫁
が哺乳瓶でミルクやってるの

「そやから、飼った猫みたくに

住みつけてしもうた！」
とむ・・・

幸せをもちます住まいづくりの勉強会

(三重)ホーミー四日市教室

家族と住まいと環境の

勉強会

ホーミー四日市教室

開催してます



NPO全国組織 内閣府認定
幸せな家庭環境をつくる会 三重支部
ホーミースタディグループ (HSG)

〒510-0358 三重県四日市市小坊首1丁目1番7号
TEL (059) 345-7725 FAX (059) 345-0745